

2002. 1. 10
毎日

(平成14年) 1月10日 (木曜日)

東京都厚労省で死亡した
女子医大の児童

東京女子医大病院立ち入り

担当医 院内報告せず

東京女子医科大学病院
(東京都新宿区)で昨年
3月、心臓手術を受けた
群馬県高崎市の子供(当
時12歳)が、人工心肺装
置の操作ミスが原因で死
亡した問題で、厚生労働

省と東京都は9日、医療
法に基づき、同病院の立
ち入り検査を行った。林
直毅院長らから事情聴取
した結果、担当医らの院
内報告は一切なく、院内
の安全管理委員会でもこ

れまで全く議題に上って
いないことが明らかにな
った。厚生省は「改善計
画を求めざるを得ない」
と判断し、月内にも文書
で改善指導を行う。
同病院は厚生相が承認

する高度先進医療を担う
特定機能病院の一つで、
医療法に基づき、安全管
理指針、医療事故などの
院内報告制度、安全管理
委員会の開催、職員研修
の実施が義務付けられて

いる。
厚生省によると、手術
には、担当医や看護婦、
臨床工学技士ら14人が携
わったが、院内報告はな
かった。月に1回開かれ
ていた同委員会でも全く
検討されず、病院側は遺
族側への対応が最重点
で、議題に上げるのが遅
れている。今月話し合う
と答えたという。

さらに、同病院は昨年
10月、遺族に対し、診療
記録の改ざんなどを認め
た調査報告書を提出した
が、その後も、改善策を
一切取っていないことも
明らかになった。
同省と都は、11月に定
期の立ち入り検査を実施
したが、この際病院側か
ら事故の報告はなかつ
た。12月、毎日新聞の報
道などで問題が発覚し、
同省などが異例の追加検

査に踏み切った。

女子医大小児心臓手術事故
厚労、女子医大へ立ち入り検査
2002年1月10日 毎日新聞